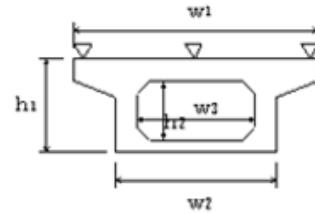


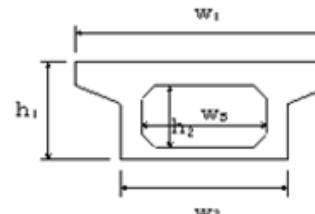
施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位:mm

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
PC箱桁製作工	基 準 高	± 20	衍全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点付近)で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは、1径間当たり両端と中央部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については床版・横組工に準ずる。 l : 衍長(m)		
	幅(上) w1	-5 ~ +30			
	幅(下) w2	-5 ~ +30			
	内 空 幅 w3	± 5			
	高 さ h1	+ 10 - 5			
	内空高さ h2	+ 10 - 5			
	衍長 l	$l < 15 \cdots \pm 10$ $l \geq 15 \cdots \pm (l - 5)$ かつ -30mm以内			

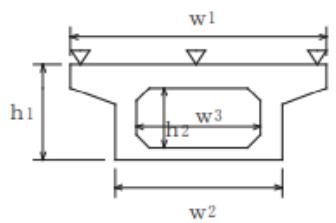
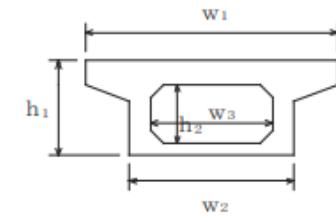
単位:mm

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
PC押出し箱桁製作工	幅(上) w1	-5 ~ +30	衍全数について測定。 衍断面寸法測定箇所は両端部、中央部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については床版・横組工に準ずる。 l : 衍長(m)		
	幅(下) w2	-5 ~ +30			
	内 空 幅 w3	± 5			
	高 さ h1	+ 10 - 5			
	内空高さ h2	+ 10 - 5			
	衍 長 l	$l < 15 \cdots \pm 10$ $l \geq 15 \cdots \pm (l - 5)$ かつ -30mm以内			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位:mm

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	頁番号
PC箱桁製作工	基準高 ∇	± 20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所（支点付近）で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び高さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、 <u>床版工</u> に準ずる。 ℓ ：桁長（m）			47
	幅（上） w_1	$-5 \sim +30$				
	幅（下） w_2	$-5 \sim +30$				
	内空幅 w_3	± 5				
	高さ h_1	$+10$ -5				
	内空高さ h_2	$+10$ -5				
	桁長 ℓ	$\ell < 15 \cdots \pm 10$ $\ell \geq 15 \cdots \pm (\ell - 5)$ かつ-30mm以内				
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	頁番号
PC押出し箱桁製作工	幅（上） w_1	$-5 \sim +30$	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については、 <u>床版工</u> に準ずる。 ℓ ：桁長（m）			47
	幅（下） w_2	$-5 \sim +30$				
	内空幅 w_3	± 5				
	高さ h_1	$+10$ -5				
	内空高さ h_2	$+10$ -5				
	桁長 ℓ	$\ell < 15 \cdots \pm 10$ $\ell \geq 15 \cdots \pm (\ell - 5)$ かつ-30mm以内				

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位:mm

単位:mm

工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要
		個々の測定値(X)	平均の測定値(X ₁₀)			
半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	—	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線20m毎に測定。 幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。		
	厚 さ	—45	—15			
	幅	—50	—			

工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要
		個々の測定値(X)	平均の測定値(X ₁₀)			
半たわみ性舗装工 (上層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	—	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。 基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時の路床面の基準高測定ができない場合及び、舗装構造が上層路盤の施工のみの場合に適用する）。		
	厚 さ	—25	—8			
	幅	—50	—			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要	単位:mm	48
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X10)					
半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線20m毎に測定。 幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	基準高については、舗装版打換時は補充材等施工完了面、全層打換時の上層路盤の施工のみの場合は施工層下面にて測定する。			
	厚さ	-45	-15					
	幅	-50	-					
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要	単位:mm	48
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X10)					
	基準高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。 基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時の路床面の基準高測定ができない場合及び、舗装構造が上層路盤の施工のみの場合に適用する）。	基準高については、舗装版打換時は補充材等施工完了面、全層打換時の上層路盤の施工のみの場合は施工層下面にて測定する。			
	厚さ	-25	-8					
	幅	-50	-					

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位mm

工 種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘要
ポーラスアスファルト舗装工 (下層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	-	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線20m毎に測定。 幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	コアーサンプル採取について 橋面舗装等でコアーサンプル採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事、及び施工延長 100m 未満又は人力敷均しにより舗設した箇所においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
	厚 さ	-45	-15			
	幅	-50	-			

単位mm

工 種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘要
ポーラスアスファルト舗装工 (上層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、 厚さは、各車線20m毎に測定。 基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、 道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時等の路床面の 基準高測定ができない場合及び、舗 装構造が上層路盤の施工のみの場合 に適用する）。	コアーサンプル採取について 橋面舗装等でコアーサンプル採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、 他の方法によることが出来る。 維持工事、及び施工延長 100m 未満 又は人力敷均しにより舗設した箇所 においては、平坦性の項目を省略する ことが出来る。	
	厚 さ	-25	-8			
	幅	-50	-			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm

工種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘要
ポーラスアスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線20m毎に測定。 幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	基準高については、舗装版打換時は補充材等施工完了面、全層打換時の上層路盤の施工のみの場合は施工層下面にて測定する。	
	厚さ	-45	-15			
	幅	-50	-			

48

単位mm

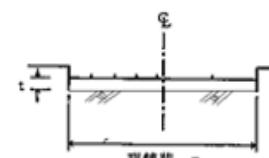
工種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘要
ポーラスアスファルト舗装工 (上層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。 基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。	基準高については、舗装版打換時は補充材等施工完了面、全層打換時の上層路盤の施工のみの場合は施工層下面にて測定する。	
	厚さ	-25	-8			
	幅	-50	-			

48

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位mm

工種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘要
路面切削工	厚さ t	-7	-2	厚さは40m毎に現舗装高さと切削後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長40m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。 測定方法は自動横断測定法によることが出来る。		
	幅 w	-25	-			

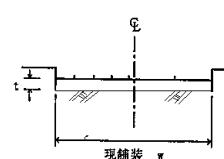
単位mm

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
落橋防止装置工 (アンカーワーク)	有効定着長 ℓ	(引張部材) D22 以下 10D以上 D25 以上 ～D32 以下 12D以上 D35 以上 15D以上 (せん断部材及び段差防止装置) D25 以下 8D以上 D29 以上 200mm 以上	全数を測定		

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

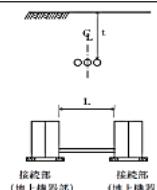
頁番号

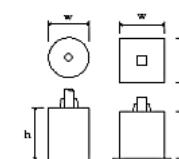
単位:mm

工種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘要	頁番号	
路面切削工	厚さ t	-7	-2	厚さは40m毎に現舗装高と切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長40m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 測定方法は自動横断測定法によることが出来る。				49
	幅 W	-25	-					
落橋防止装置工	アンカーボルト孔の削孔長	設計値以上		全数測定			50	
	アンカーボルト孔定着長	-20以内 かつ-1D以内		D : アンカーボルト径 (mm)				

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

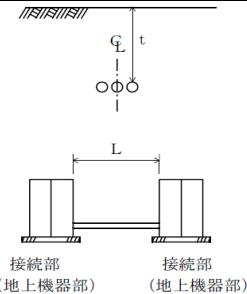
単位:mm			単位:mm		
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
ケーブル配管工	深さ t	0~+50	接続部間毎に 1 箇所		
	延長 L	-200	接続部間毎で全数。		

単位:mm			単位:mm		
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	設計値以上	1 箇所毎/ 1 施工箇所		
	高さ h	設計値以上			

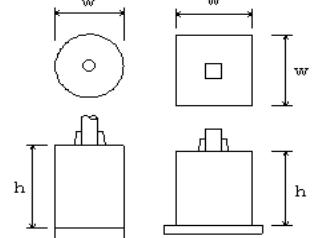
改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位:mm

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	頁番号
ケーブル配管工	埋設深さ <u>t</u>	0~+50	接続部間毎に1箇所			52
	延長 L	-200	接続部間毎で全数。			

単位:mm

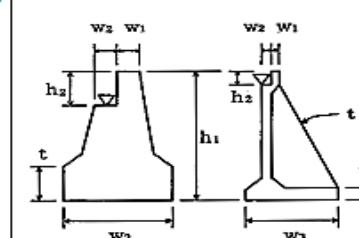
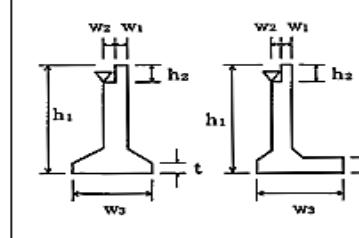
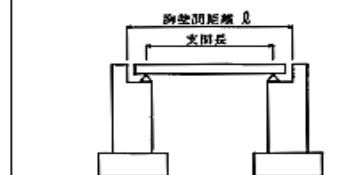
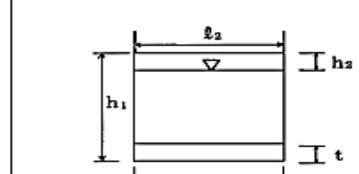
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	頁番号
照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	<u>-30</u>	1箇所/1施工箇所			52
	高さ h	<u>-30</u>				

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

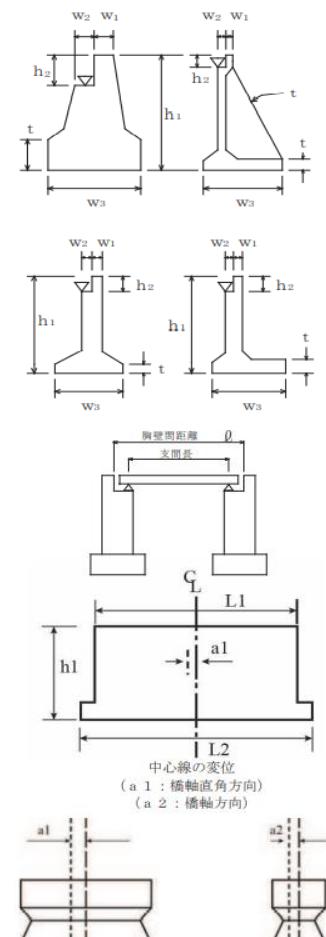
単位mm

単位mm

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
橋台軸体工	基準高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
	厚さ t	-20			
	天端幅 w_1 (橋軸方向)	-10			
	天端幅 w_2 (橋軸方向)	-10			
	敷幅 w_3 (橋軸方向)	-50			
	高さ h_1	-50			
	胸壁の高さ h_2	-30			
	天端幅 l_1	-50			
	敷長 l_2	-50			
	胸壁間距離 l	± 30			
	支間長及び中心線変位	± 50			
	支承部アンカーボルトの箱抜き規格値				
	計画高	-20~+10			
	平面位置	± 20			
	アンカーボルトの船直度	1/50以下			

改 定¹ (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	単位:mm	頁番号
橋台軸体工	基準高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。				54
	厚さ t	-20					
	天端幅 w_1 (橋軸方向)	-10					
	天端幅 w_2 (橋軸方向)	-10					
	敷幅 w_3 (橋軸方向)	-50					
	高さ h_1	-50					
	胸壁の高さ h_2	-30					
	天端長 ℓ_1	-50					
	敷長 ℓ_2	-50					
	胸壁間距離 ℓ	± 30					
	支間長及び 中心線の変位	± 50					
	計画高	$+10 \sim -20$					
	平面位置	± 20					
	アンカーボルト孔の 鉛直度	$1/50$ 以下					
	支承部アンカーボルトの 箱抜き規格値						

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

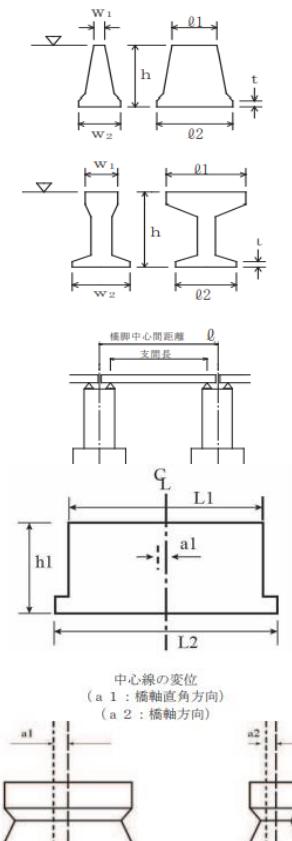
現 行

工 種	測定項目		規格値	測定基準		測定箇所	摘要	単位mm					
	測定基準	測定箇所		単位mm									
橋脚軸体工 (張出式)	基 準 高	▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。									
	厚 さ	t	-20										
	天 端 幅	w ₁	-20										
	(橋軸方向)												
	敷 幅	w ₂	-50										
	(橋軸方向)												
	高 さ	h	-50										
	天 端 長	l ₁	-50										
	敷 長	l ₂	-50										
	橋脚中心間距離 l		±30										
	支間長及び中心線変位		±50										
支 承 の 部 箱 抜き アン カー ボル	計画高		-20~+10										
	平面位置		±20										
	アンカーボルの鉛直度		1/50 以下										

改 定¹ (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	頁番号
橋脚軸体工 (張出式) <u>(重力式)</u> <u>(半重力式)</u>	基準高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 <u>箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。</u>			55
	厚さ t	-20				
	天端幅 w_1 (橋軸方向)	-20				
	敷幅 w_2 (橋軸方向)	-50				
	高さ h	-50				
	天端長 l_1	-50				
	敷長 l_2	-50				
	橋脚中心間距離 l	± 30				
	支間長及び 中心線の変位	± 50				
	支承部アンカーボルトの 箱抜き規格値	計画高 平面位置 アンカーボルト孔の 鉛直度	+10～-20 ± 20 $1/50$ 以下			

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

工 種	測定項目		測定基準	測定箇所	摘要
	規格値	単位mm			
橋脚軸体工 (ラーメン式)	基 準 高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
	厚 さ t	-20			
	天 端 幅 w1	-20			
	敷 幅 w2	-20			
	高 さ h	-50			
	長 さ l	-20			
	橋脚中心間距離 l	±30			
	支間長及び中心線の変位	±50			
	支承の箱抜き規格値 部アンカーボル	計画高	-20~+10		
		平面位置	±20		
		アンカボルの鉛直度	1/50 以下		

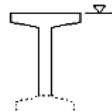
改 定¹ (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

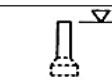
頁番号

工種	測定項目	規格値	測定基準	摘要		単位:mm
				測定箇所	摘要	
橋脚軀体工 (ラーメン式)	基準高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。			
	厚さ t	-20				
	天端幅 w1	-20				
	敷幅 w2	-20				
	高さ h	-50				
	長さ l	-20				
	橋脚中心間距離 l	±30				
	支間長及び 中心線の変位	±50				
	支承部 箱抜き規格 値の アンカーボルト	計画高	+10～-20			
		平面位置	±20			
		アンカーボルト孔の 鉛直度	1/50以下			

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

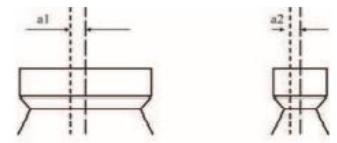
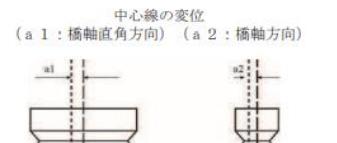
現 行

単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
橋脚架設工 (I型・T型)	基 準 高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
	橋脚中心間距離 ℓ	±30			
	支間長及び中心線の変位	±50			

単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
橋脚架設工 (門型)	基 準 高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
	橋脚中心間距離 ℓ	±30			
	支間長及び中心線の変位	±50			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

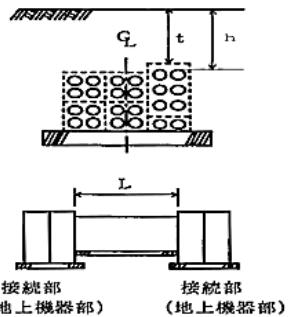
単位:mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
橋脚架設工 (I型・T型)	基準高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。	 <p>中心線の変位 (a 1 : 橋軸直角方向) (a 2 : 橋軸方向)</p> 	
	橋脚中心間距離 ℓ	±30			
	支間長及び中心線の変位	±50			
橋脚架設工 (門型)	基準高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。	 <p>中心線の変位 (a 1 : 橋軸直角方向) (a 2 : 橋軸方向)</p> 	
	橋脚中心間距離 ℓ	±30			
	支間長及び中心線の変位	±50			

57

58

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

工種	測定項目	規格値	単位:mm		
			測定基準	測定箇所	摘要
管路工	埋設深 h	0 ~ +50	桟間毎に全数。		
	延長 L	-200			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

单位:mm						
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
管路工 <u>(管路部)</u>	埋設深 h	0～+50	耕間毎に全数。			
	延長 L	-200				60

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要	単位mm
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X ₁₀)				
切削オーバーレイ (路面切削)	厚さ t	-7	-2	厚さは20m毎に現舗装高さと切削後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。延長20m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。測量方法は自動横断測定法によることが出来る。			
	幅 w	-25	-				

工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要	単位mm			
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X ₁₀)							
オーバーレイ工	厚さ t	-9		<p>厚さは20m毎に現舗装高さとオーバーレイ後の基準高の差で算出する。</p> <p>測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。</p> <p>幅は延長40m毎に1箇所の割とし、延長20m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。</p> <p>断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。</p>						
	幅 w	-25								
	延長 L	-100								
	平坦性	-	3 m ² マチナ ー(σ) 2.4 mm以下直 読式(足付き) (σ)1.75 mm以 下	<p>維持工事、及び施工延長100m未満又は人力敷均しにより舗設した箇所においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>						

改 定¹ (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要	単位:mm			
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X10)							
切削オーバーレイ (路面切削)	厚さ t <u>(切削)</u>	個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X10)	<p>厚さは20m毎に「現舗装高さと切削後の基準高の差」、「<u>切削後の基準高とオーバーレイ後の基準高の差</u>」で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。<u>幅は延長40m毎に1箇所の割りとする</u>。</p> <p>延長20m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。測量方法は自動横断測定法によることが出来る。</p> <p><u>維持工事及び施工延長100m未満、または人力敷均しにより舗設した箇所においては、平坦性の項目を省略することができる。</u></p>						
	厚さ t <u>(オーバーレイ)</u>	-9								
	幅 W	-25								
	延長 L	-100								
	平坦性	10個の測定値の平均(X10) <u>3 m² ロワールスター (σ) 2.4mm以下</u> <u>直線式(足付き) (α) 1.75mm以下</u>								

オーバーレイ工：切削オーバーレイに統合